

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
1	18	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベント	福祉総務課 健康課 社会福祉協議会	継続	継続	【実績】 実行委員会にて実施 9月27日(土)、28日(日)実施 来場者数 16,500人 参加団体数 174団体 「ふれ愛コンサート」と同時開催 【評価】 参加団体・施設の交流と成果発表の場を提供することができた。
2	18	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示	福祉総務課 社会福祉協議会	継続	継続	【実績】 H19年度から支所地域にも募集 応募点数 小学生639点、中学生23点 学校やコミュニティセンター等16か所での入賞作品の巡回展示 【評価】 合計662点の応募があり、児童の福祉に対する理解と関心を高めることができた。
3	18	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターの作成・配布	福祉総務課 社会福祉協議会	継続	継続	【実績】 リーフレット 11,700枚 ポスター 580枚 作成・配布 【評価】 市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用された。

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
4	20	長岡市社会福祉協力校指定事業	小・中・高等学校・高等専門学校及び特別支援学校を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高めるとともに「思いやりの心」の醸成を促進	社会福祉協議会	継続	継続	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度は新たに1校が指定校となり、全105校となった。 ・壁新聞を年6回、実践収録を年1回発行。 <p>【評価】</p> <p>各校では福祉施設訪問や地域の美化活動、多世代交流など、様々な福祉活動が実践されている。青少年期から福祉に触れることで、「おもいやりの心」を醸成するとともに、将来的な人間形成にも繋がっている。</p>
5	20	福祉教育ライブラリー整備事業	教育センターに特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等のライブラリーの整備充実と活用	学校教育課	整備	継続	<p>【実績】(貸出状況)</p> <p>視聴覚教材：10件 書籍：162件</p> <p>【評価】</p> <p>特別支援教育や福祉教育に関する書籍(22冊)を整備するとともに、それらの書籍や視聴覚教材の活用についての広報を行って貸出しの増加を図った。</p>
6	20	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深め、「思いやり、助けあい」の心を育成するために、小学3年生を対象とした福祉読本の作成と活用	福祉総務課 社会福祉協議会	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>教師用 450冊 児童用 2,970冊 作成・配布</p> <p>【評価】</p> <p>小学校で活用されており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。</p>
7	20	家庭教育活動事業	幼児から小学生の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマにも取り組む	保育課	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>補助対象園 56園(63回)</p> <p>【評価】</p> <p>福祉をテーマとする講座の実施がなかったため、講師を紹介するなどの働きかけを行い、同内容の講座を増やしていく必要がある。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
8	23	ボランティア大学 ・基礎講座 ・介護講座 ・傾聴講座 ・初心者講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>ボランティア大学基礎講座 開催回数14回、参加者数27人 介護講座 開催回数4回、参加者数17人 初心者（フォローアップ）講座 開催回数27回、参加者数31人 （内訳） ・点訳：8回、参加者数8人 ・音声訳：8回、参加者数12人 ・手話：6回、参加者数8人 ・要約筆記：5回、参加者数3人 傾聴講座 開催回数3回、参加者数31人</p> <p>【評価】</p> <p>実技を伴う講座への関心が高かった。様々な障害を学び、技術ボランティアの必要性についての理解を深めることができた。</p>
9	23	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課 社会福祉協議会	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>社会福祉協議会においては、ボランティア大学を通じた活動や社協だよりへの記事の掲載などにより、啓発を実施している。福祉課においては、運転ボランティアの協力により、重度身体障害者移動支援事業（ハート・カーの運行）を実施</p>
10	23	精神保健福祉講座	精神障害のある人に対する偏見をなくし、ともに生きる地域づくりの推進	福祉課	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>「こころのバリアをなくそうよ講演会・講座」2回 135人 「精神保健福祉講座」4回 74人</p> <p>【評価】</p> <p>初めての参加者や学生の参加者が多く見られ、精神障害について知るきっかけの場とすることができた。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価	
11	26	特別支援学級教育環境整備事業	生活訓練等総合的な学習活動のための設備の整備及び教室の改良	教育施設課	継続	継続	【実績】 小学校6校及び中学校1校実施(特別支援教室新設、設備改修等) 【評価】 特別支援教育に対応することができた。	
12	26	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童の移動のための設備の整備	教育総務課	継続	継続	【実績】 階段昇降機の保有台数4台に対し、利用台数は小学校1校2台であった。 【評価】 保有台数が利用台数を満たしていたので、階段昇降機を必要とする児童に適切な支援を行うことができた。	
13	26	市立総合支援学校放課後サポート事業	市立総合支援学校放課後サポート事業の実施	福祉課	継続	継続	【実績】 長岡市立総合支援学校在籍の児童・生徒を対象に平日の放課後及び長期休業日の日中の一時預かりを実施。 実施日数 227日、延べ利用者数 2,606人 【評価】 一日当たりの平均利用人数は、概ね18人の定員に対し12.1人で前年から若干減少(H25 13.0人)。重度の障害児・者が増えていることもあり、マンツーマン対応等の比重が年々高まっている。	
14	30	早期療育体制の整備						
		こども発達相談室の充実	事業内容の充実、実施回数や専任職員の増	子ども家庭課	継続	継続	【実績】 相談延人数2,739人 【評価】 一人ひとりの相談に寄り添い、より良い支援を行った。	
			幼稚園や保育園、学校との連携	子ども家庭課	継続	継続	継続して実施	

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
15	30	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会の積極的な活用	福祉課	継続	継続	<p>【実績】 H20年子ども部会設置 H26部会開催回数7回</p> <p>【評価】 総合支援学校への送迎に係る保護者の負担についての現状把握などを実施した。</p>
16	30	福祉サービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	継続	継続	<p>【実績】 居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業を継続して実施</p> <p>【評価】 居宅介護の利用実績は微増で計画値を下回った。短期入所の利用実績は前年度を下回った。日中一時支援事業の利用実績は実質前年度を上回った。放課後サポートについては整理番号13に記載のとおり。</p>
			児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の利用促進	子ども家庭課	H24～実施	継続	<p>【実績】 障害児通所支援及び障害児相談支援給付費等対象者 延人数12,907人</p> <p>【評価】 各事業所に関するチラシを作成し、児童の発達支援を行う事業所の周知を行った。</p>
17	30	障害児保育の充実	保育園の入園を希望する障害のある子どもの受け入れ体制の整備	保育課	継続	継続	<p>【実績】 ・保育園への補助 特別児童扶養手当認定児童分 11人 6,991,920円 軽度障害児分 24人 7,095,000円</p> <p>【評価】 保育園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
18	30	私立幼稚園特別支援教育費補助事業	幼稚園における障害のある子どもの受け入れの推進	保育課	継続	継続	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園への補助 4園 1,176,000円 <p>【評価】</p> <p>幼稚園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
19	30	こどもすこやか応援事業	配慮を要する児童を早期に発見し、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援の実施	保育課	継続	継続	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援児童数 173人 ・すこやかファイル作成件数 54件 <p>【評価】</p> <p>関係機関との連携を図り、就学支援がよりスムーズに行われた。</p>
20	34	長岡市障害者多数雇用事業者からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達する	商業振興課	継続	継続	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録事業者数 7社 ・契約実績 397件 約270,854千円 <p>【評価】</p> <p>下水処理業務等の委託事業における調達実績があったため、契約実績額が増加した。</p>
21	37	ハンディスポーツ・レクリエーション講習会	障害者スポーツ・レクリエーション活動の振興の担い手となる人材の養成	福祉課	継続	継続	<p>【実績】</p> <p>実施回数 5回 参加者数23人</p> <p>【評価】</p> <p>参加者は前年比3人増。今後とも、多くの人に参加してもらうために広く周知していく。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
22	37	「障害者週間」にあわせたイベント	「障害者週間」にあわせて、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント「ふれ愛のつどい」を開催	福祉課	継続	継続	<p>【実績】 H25年度から「ふれ愛スポーツのつどい」として開催。 年2回開催し、障害者スポーツを通じて交流を図っている。 開催 9月、11月で 参加者数 157人</p> <p>【評価】 毎年実行委員会形式で開催しており、市民協働でイベントを実施することができた。</p>
23	37	ながおかポニーカーニバル	ポニーとのふれあいを通じて、青少年の健全育成と乗馬療法による障害のある人の機能回復及び障害のある人と障害のない人の交流を促進する	子ども家庭課	継続	継続	<p>【実績】 開催日 9月28日 来場者数 2,000人</p> <p>【評価】 高校生・専門学校生・大学生などのボランティアの協力により、障害のあるなしに関わらず、多くの市民がポニーとのふれあいや乗馬など体験することができた。また、支所地域巡回ポニーカーニバルも2か所(小国、中之島地域)で実施した。</p>
24	37	グラウンドポニースクール	学校に出向いたポニーとのふれあいを通じて、青少年の健全育成と、乗馬療法による障害のある人の機能回復の場とする	子ども家庭課	継続	継続	<p>【実績】 開催日 9月11日～9月14日、9月16日～9月22日、9月24日～9月26日 開催校・参加校 14ヶ所、15校 開催施設 4ヶ所 参加人数 1,900人</p> <p>【評価】 ポニーとの活動が子ども達的情操教育に大きく貢献するということ、保護者や学校職員に実感してもらえた。また、学校の授業参観日に保護者や地域住民にも乗馬を体験してもらったり、大勢の人が集まる子育ての駅や福祉施設等でも開催したりすることにより、広く市民に乗馬体験の効果を知らせてもらうことができた。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
25	37	ながおかポニースクール(仮称)	ポニーを活用して、障害のある人の機能回復と青少年の交流体験・社会体験の機会を提供する「常設ポニースクール」の整備	子ども家庭課	検討	検討	引き続き検討
26	37	障害者スポーツ競技力向上事業	障害者スポーツの活性化と競技水準の向上のため、全国に通じる選手の育成	福祉課	継続	未実施	適切な指導など競技力の向上のための取組を実施できる団体が存在せず、実施体制が整っていない状況にある。
27	37	長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会(仮称)の設立	市民との協働による長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会設立の検討	福祉課	検討	検討	事業実施の可能性について引き続き検討
28	39	ふれ愛コンサート	コンサートを通して、障害のある人と障害のない人の「ふれあい」の場を提供し、障害のある人の音楽文化の向上と社会参加を実現	福祉課 社会福祉協議会	継続	継続	<p>【実績】 開催日9月28日(日) 入場者780人(H25 470人) 「すこやか・ともしびまつり」と同時開催</p> <p>【評価】 アオーレ開催2年目となり、ステージをアリーナに移して行った。入場者数は過去最大となり、今後も入場者数は増加してることが期待される。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
29	43	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と異常の早期発見・早期治療を図るとともに、基本的な生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育て支援を進めるもの。	子ども家庭課	継続	継続	<p>【実績】 受診率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4か月児健診98.9% ・ 5～6か月児乳児健康相談96.0% ・ 10か月児健診94.5% ・ 1歳6か月児健診98.3% ・ 3歳児健診96.5% <p>【評価】 乳幼児健康診査において保護者の相談に対応し、必要に応じて関係機関につなぐことができた。</p>
31	43	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防する。	健康課	継続	継続	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診 (19～39歳及び医療保険未加入者) 受診者数2,223人 受診率9.5% ・ 特定健診(40～74歳国保加入者) 受診者数17,322人 受診率34.4% ・ 後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数11,206人 受診率30.6% ・ 特定保健指導(40～74歳国保加入者) 動機付け支援 利用者数 252人 利用率 20.7% 積極的支援 利用者数 79人 利用率 22.2% <p>【評価】 各健診では、受診率が昨年と比べ上昇しているが、さらに啓発や受診環境整備をして受診者を増やす必要がある。また、特定保健指導の利用率は前年より減少しており、利用率向上のための対策を講じる必要がある。 平成20年度から健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業が移行</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
32	43	保健指導 健康教育 健康相談 訪問指導	市民を対象に保健指導を実施 ・健康教室を開催 ・個別に健康についての相談実施 ・健診受診者で医療機関に受診が必要な人への受診勧奨など	健康課	継続	継続	<p>【実績】 健康教育 開催回数 280回 延人数 8,462人 健康相談 H26重点健康相談 開催回数 30回 相談延人員 348人 H26総合健康相談 開催回数 157回 相談延人員 1,352人 訪問指導 訪問指導実人数 737人 延人数 857人</p> <p>【評価】 ・健康教育では、生活習慣病予防のため自ら健康づくりができるように指導を行った。 ・健康相談では、健診結果や健康に関する悩みや心配ごとを解消することができた。 ・訪問指導では、おもに健診結果が要受診の人やがん検診結果が要精密検査の人について、未受診の人に受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。</p>
33	43	こころの健康講演会	うつ病等を予防するための講演会の開催	健康課 25回 1,020人 福祉課 1回 74人	継続	継続	<p>【実績】 開催回数26回 参加人数1,094人</p> <p>【評価】市全体及び地区単位での啓発により、市民への啓発が行えた。知識の浸透のために今後も継続する必要がある。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
34	43	こころの健康相談	うつ病等の健康相談を開催	健康課	継続	継続	<p>【実績】 来所・電話相談 延1,038件 こころの相談会 開催回数56回 相談延人数85人</p> <p>【評価】 来所、電話相談の増加が見られ、多くの市民のこころの不安や悩みの軽減の一助になった。</p>
35	45	福祉サービスの充実	機能訓練の利用促進	福祉課	継続	継続	<p>【実績】()はH25年度 利用者人数 67人(55人)</p> <p>【評価】 利用実績は前年度を上回り、身体機能の回復・維持のために利用された。</p>
36	45	精神障害者医療費助成	精神障害のある人に対する医療費の助成	福祉課	継続	継続	<p>【実績】()はH25年度 受給者数 2,272人(2,104人) 申請件数 24,224件(21,526件) 助成額 70,390千円(71,039千円)</p> <p>【評価】 受給者数が増え、申請件数も増加している。引き続き、制度の周知を図っていく。</p>
37	108	手話奉仕員等の派遣の充実	手話奉仕員の養成と手話・要約筆記奉仕員の派遣の充実	福祉課	継続	継続	<p>【実績】()はH25年度 手話奉仕員645人(635人) 要約筆記奉仕員57人(71人)</p> <p>【評価】 就職・就学のための派遣件数が増加傾向となっており、聴覚障害者の社会参加の機会が増加していることが考えられる。今後も手話等による意思疎通のニーズが高くなってくると考えられるため、派遣件数は増加する見込み。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
38	108	手話通訳者の本庁舎配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	継続	継続	<p>【実績】()はH25年度 設置日数247日 来庁者数858人(1,214人)</p> <p>【評価】 アオーレ長岡のオープン以来、窓口業務の一元化その他の窓口サービスの向上のための取組を行う中で、聴覚障害者の意思疎通についても支援していく。 H26年4月から手話通訳員が2名から1人体制となっているが、2人体制となるよう努めていく。</p>
39	108	音声による情報提供の促進	音声情報コード付き文書等音声による情報提供の促進	福祉課	継続	継続	<p>【実績】 心身障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声認識データでの情報提供を実施。 また、声の市政だよりの送付を行っている(H26送付対象者 76世帯)。</p> <p>【評価】 引き続き、音声による情報提供を図っていく。</p>
40	108	福祉マップ作成事業	バリアフリーであいマップの配布	福祉総務課	継続	検討	バリアフリーであいマップの在り方について検討
			バリアフリーであいマップの改訂	福祉総務課	改訂	検討	

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
41	110	相談サービスの充実	障害者相談支援センター、障害者支援訪問相談員による相談の充実	福祉課	継続	継続	【実績】 障害者相談支援センター 6 事業所 (相談支援専門員10人、サポート職員 7人) 障害者支援訪問相談員 4人 【評価】 相談件数が以前の水準よりも大きく増加している。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
			長岡市障害者自立支援協議会の積極的な活用	福祉課	継続	継続	【実績】 全体会を 4 回開催 専門部会 5 部会・相談支援連絡調整会議 【評価】 全体会のほか、協議会の体制を見直すために立ち上げた「協議会のあり方検討会」を 5 回開催。H27年度以降も継続して検討し、相談支援の現場で直面する地域課題を協議会での検討につなげられるよう、体制を確立していく。
42	110	福祉窓口の充実	・窓口相談支援システムの再構築 ・手続き・申請内容の拡充	福祉課	継続	拡充	アオーレ長岡移転後も、年々対応業務が増加している。 H25年4月約360メニュー H26年4月約380メニュー
43	115	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	継続	継続	施設の設計時に配慮して整備
44	115	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー化に取り組む	各課施設	継続	継続	施設の設計時に配慮して整備

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
45	115	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を考慮して行う既存の公民館、集会所の機能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民活動推進課	継続	継続	【実績】 ・町内公民館のトイレの洋式化等、改造に要する経費の一部補助を行った。 H26年度交付件数 1件 【評価】 ・町内公民館等の利便性が向上した。
46	115	公園の新設整備 既存公園の改善	障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備 障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時にあわせて改善	公園緑地課	継続	継続	【実績】 既存公園について、老朽化により更新が必要となっている施設を身障者に配慮した施設への改善を検討。
47	119	公営住宅建替事業	稲葉団地の建替	住宅施設課	建設	完了	【実績】 第3期RC造4階建1棟41戸建設工事完了 【評価】 高齢者に配慮したシルバーハウジング住戸(20戸)を建設した。
48	119	住宅改良(リフォーム)ヘルパーの派遣、改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改善に関する、相談助言と改造費補助	福祉課 介護保険課	継続	継続	【実績】 福祉課 住宅改造費助成件数6件 介護保険課 住宅改造費助成件数38件 リフォームヘルパー派遣件数2件 【評価】 障害者及び高齢者の自立を支援するとともに、快適で安全な生活環境の改善に役立った。 なお、リフォームヘルパー派遣事業については介護保険の住宅改修制度の創設により保険給付から住宅改良時に必要な支援を受けられるようになったため、H26年度をもって廃止。

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
49	122	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備 バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	交通政策課	整備	整備	【実績】 上屋設置補助金交付件数 1件 【評価】 町内会から申請のあった1箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善が図られた。
50	122	循環バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ循環バスの運行	交通政策課	運行	運行	【実績】 中央循環バス・・・内回り28便、外回り30便運行 南循環バス・・・内回り11便、外回り11便運行(土・日・祝日はそれぞれ2便減) 【評価】 低床式バスを運行し、利用者の利便性を向上させた。
51	122	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	交通政策課	促進	促進	【実績】 低床バス導入台数 1台(内、市補助0台、交通事業者購入1台) 年度末現在：長岡駅乗入台数176台中55台が低床バス(31.3%) 【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20～25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が達成された。
52	122	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	道路建設課	整備	整備	【実績】 用地取得 A = 2,374.66㎡ 【評価】 計画的に整備している。
53	122	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	道路建設課	整備	整備	H22年度で事業は終了しているが、歩道整備の必要性があれば対応する。

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
54	125	避難支援プランの推進	災害時要援護者避難支援プランに基づく個々の災害時要援護者に対する具体的な支援体制の推進 ・災害時要援護者名簿の作成 ・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有	福祉総務課	継続	継続	【実績】 H26年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。
55	125	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、災害時要援護者等へ配備	危機管理防災本部	継続	継続	【実績】 ラジオ配付を希望する新規要援護者に対し配付を実施したほか、市が貸与したラジオについて故障・不具合に係る交換対応等を実施。(累計11,373台配付) 【評価】 町内会や要援護者への避難準備情報など災害情報等の緊急告知が可能となった。
56	125	地域防災力の強化推進	「市民防災のしおり」、「洪水ハザードマップ」等の全世帯配布(視覚障害者には音声訳版・点字版配布)、「自主防災会結成と活動の手引き」の全町内会配布や、中越市民防災安全士の養成等による地域防災力強化の推進	危機管理防災本部	継続	継続	【実績】 転入者に対して「洪水ハザードマップ」等防災の冊子を配布し、防災意識の高揚を図った。 H26年度末現在：自主防災会結成率91.62%、中越市民防災安全士432人
57	125	中越市民防災安全大学	地域の防災リーダーの養成と防災安全知識の修得を目的に平成18年度から開校	危機管理防災本部	継続	継続	【実績】 7月から11月の5ヶ月間に26講座を開催し47名が中越市民防災安全士として認定。 【評価】 地域の防災リーダーが育成され、住民が主体となった地域防災力の向上につながった。

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
58	125	消防緊急情報システムの充実	障害のある人や高齢者等からの通報に対する迅速な救護支援システムの推進	消防本部警防課	継続	継続	<p>【実績】 メール119番通報システム及び119番専用FAX等導入済</p> <p>【評価】 メール119番通報システム等の導入により、障害のある方等からの通報に迅速に対応できるようになった。</p>

第3期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成26年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H24-26計画	H26実績	H26年度実績等説明及び評価
59	125	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	都市開発課	継続	継続	<p>【実績】 H26年度実績は27件であった。町内説明会、市政だより年2回広報、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化に対する関心を高めることができた。</p>
60	125	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	都市開発課	継続	継続	<p>【実績】 H26年度実績は2件であった。町内説明会、市政だより年2回広報、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化を着実に進めることができた。</p>
61	125	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	都市開発課	継続	継続	<p>【実績】 H26年度実績は2件であった。町内説明会、市政だより年2回広報、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 件数は年々減少傾向にあるが、すまいの耐震化を着実に進めることができた。</p>
62	125	耐震住宅改修融資	耐震改修を必要とする住宅に融資の実施	住宅施設課	継続	継続	<p>【実績】 H26年度の利用は0件であった。住宅融資制度については、市政だより、パンフレット、住宅建託・改修のお役立ち情報、日報住まいのリフォームフェアにおいてPRを行った。</p> <p>【評価】 耐震改修費補助金と併用で一層の効果が期待できるが、近年、金融機関の住宅ローンが充実しているため、本制度の利用が減少している。</p>

【障害福祉計画部分】 平成26年度障害福祉サービス等利用実績

(単位等について)

- 「時間分」「人日分()」… 1か月あたりの延べ量
月間の利用人員×1人1か月あたりの平均利用日数
- 「人分」…実人員
- 実績値については、各年度3月の月間利用実績または3月末時点での実績

1 障害福祉サービス

(計画書P59~77)

(1) 訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援)

(計画書P60~62)

サービス名	単位	計画値			実績値			評価
		24年度	25年度	26年度	24年度	25年度	26年度	
居宅介護	時間分	3,745	4,024	4,303	3,538	3,735	3,670	各サービスとも支給決定対象者が増加せず、計画値を下回っている。
	人分	175	189	203	160	176	177	
重度訪問介護	時間分	573	573	573	60	60	60	
	人分	3	3	3	1	1	1	
同行援護	時間分	183	366	549	152	181	206	
	人分	10	20	30	4	8	9	
行動援護	時間分	18	24	24	14	8	0	
	人分	3	4	4	1	1	0	
重度障害者等包括支援	時間分	100	100	100	0	0	0	
	人分	1	1	1	0	0	0	

(2) 日中活動系サービス

(計画書 P 63 ~ 72)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
療養介護	人分	72	73	74
生活介護	人日分	13,670	13,721	13,750
	人分	623	638	640
自立訓練（機能訓練）	人日分	271	305	339
	人分	13	15	17
自立訓練（生活訓練）	人日分	880	1,056	1,078
	人分	40	48	49
宿泊型自立訓練	人日分	580	725	870
	人分	20	25	30
就労移行支援	人日分	3,190	3,278	3,300
	人分	145	149	150
就労継続支援（A型）	人日分	330	748	1,276
	人分	15	34	58
就労継続支援（B型）	人日分	10,494	10,956	11,418
	人分	477	498	519
短期入所（ショートステイ）	人日分	573	589	605
	人分	70	72	74

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
70	69	73	各サービスとも支給決定対象者が増加せず、計画値を下回っている。 短期入所は、実人員は計画値を上回っているが、一人当たりの利用日数が少なかったため、人日分は計画値を下回っている。
10,020	10,005	11,072	
531	535	564	
91	101	148	
5	7	8	
581	538	665	
32	28	34	
502	413	351	
19	14	14	
2,076	2,182	2,086	
111	113	101	
241	313	442	
12	15	21	
8,806	9,595	10,917	
466	523	541	
673	567	529	
68	82	97	

(3) 居住系サービス

(計画書 P 73 ~ 74)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
共同生活介護（ケアホーム）	人分	177	195	215
共同生活援助（グループホーム）	人分	100	102	105
施設入所支援	人分	358	354	349

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
162	168		障害者総合支援法の一部改正により、平成26年4月から、共同生活介護（ケアホーム）が共同生活援助（グループホーム）に一元化された。共同生活介護・共同生活援助全体としては、計画値を下回っている。 施設入所支援は、地域生活への移行に伴い、計画値を下回っている。
96	99	264	
330	326	325	

(4) 相談支援

(計画書 P 75 ~ 77)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
計画相談支援	人分	49	107	285
地域移行支援	人分	10	15	20
地域定着支援	人分	42	49	54

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
101	343	1,089	計画相談支援は、指定相談支援事業所の増加により、計画値を上回っている。 地域移行支援・地域定着支援は、支給決定対象者が増加せず、計画値を下回っている。
6	4	2	
0	3	2	

2 地域生活支援事業

(計画書 P78~99)

(1) 相談支援事業

(計画書 P79~81)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
相談支援事業				
障害者相談支援事業	箇所	5	6	6
(相談件数)	件	52,000	54,000	56,000
地域自立支援協議会	有無	有	有	有
市町村相談支援強化事業	有無	有	有	有
住宅入居等支援事業	有無	有	有	有
成年後見制度利用支援事業	有無	有	有	有

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
5	5	6	相談ニーズの高まりや相談支援事業の周知により、相談件数は以前の水準よりも大きく増加している。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
45,927	57,577	55,471	
有	有	有	
有	有	有	
有	有	有	
有	有	有	
有	有	有	

(2) コミュニケーション支援事業

(計画書 P82)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
手話通訳者設置事業	人	2	2	2
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	実利用者数	82	84	86
	派遣延人数	690	710	730

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
2	2	1	利用者数・派遣回数ともに計画値を下回っているものの、意思疎通手段としてのニーズは高い。手話通訳者の設置が1名となったが、2名体制となるよう引き続き取り組んでいく。
87	69	73	
717	706	702	

(3) 日常生活用具費給付事業

(計画書 P83~84)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
介護訓練支援用具	件	18	20	20
自立生活支援用具	件	50	55	60
在宅療養等支援用具	件	60	65	70
情報・意思疎通支援用具	件	38	40	42
排せつ管理支援用具	件(月分)	6,200	6,400	6,600
	実人員	530	550	570
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件	15	15	15

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
25	13	11	いずれも計画値を下回っているが、日常生活において必要な用具費の給付事業として、今後もニーズを把握しながら実施していく。
46	48	45	
61	43	49	
38	61	36	
5,970	6,112	6,175	
543	576	663	
9	9	10	

(4) 移動支援事業

(計画書 P 85 ~ 87)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
移動支援事業（個別支援型）	箇所	27	28	29
	月平均利用者（人）	117	120	124
	年間実利用者（人）	183	189	194
	月平均延利用時間	1,787	1,850	1,914
	年間延利用時間	21,446	22,205	22,965
移動支援事業（車両移送型）				
箇所数	箇所	2	2	2
車両数	台	4	4	4
年間延べ利用者数	人	4,380	4,380	4,380

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
27	26	29	利用者及び利用時間は、計画値を下回っている。
111	108	110	
172	165	180	
1,684	1,180	1,109	
20,207	14,162	13,308	
2	2	2	車両を年度途中に増車し、安定した運行ができているが、利用者については、計画値を下回っている。
5	6	7	
4,186	3,652	3,936	

(5) 地域活動支援センター

(計画書 P 88 ~ 89)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
地域活動支援センター （長岡市分）	箇所	11	11	11
	利用実人数	263	274	285
1 地域活動支援センター（型）	箇所	2	2	2
	利用実人数	98	100	102
2 地域活動支援センター（型）	箇所	0	0	0
	利用実人数	0	0	0
3 地域活動支援センター（型）	箇所	3	3	3
	利用実人数	74	77	80
4 地域活動支援センター（基礎的事業のみ）	箇所	6	6	6
	利用実人数	91	97	103
地域活動支援センター（型） （長岡市以外分）	箇所	1	1	1
	利用実人数	1	1	1

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
10	10	10	事業所数は、就労継続支援B型に移行した事業者があり、計画値を下回っている。 長岡市分の全体での利用人数は、計画値に達している。
263	265	274	
2	2	2	
84	84	90	
0	0	0	
0	0	0	
3	2	2	
93	61	62	
5	6	6	
86	120	122	
0	0	1	
0	0	1	

1 地域活動支援センター（型）

基礎的な事業に加え、専門職員（精神保健福祉士等）を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティアの育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発等の事業を実施する。なお、相談支援事業を併せて実施または委託をうけていることが要件である。

法人格を有し、職員は3名以上（うち2名以上は常勤）配置

1日当たり実利用人数が概ね20名以上

2 地域活動支援センター（ 型）

基礎的な事業に加え、地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスなど自立と生きがいを高めるための事業を実施する。

法人格を有し、職員は3名以上（うち1名以上は常勤）配置

1日当たり実利用人数が概ね15名以上

3 地域活動支援センター（ 型）

地域の障害者のための援護対策として、地域の障害者団体等が実施する通所による援護事業の実績を概ね5年以上有し、安定的な運営が図られており、創作的活動、生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う。

このほか、自立支援給付に基づく事業所に併設して実施することも可能である。

法人格を有し、職員は2名以上（うち1名以上は常勤）配置

1日当たり実利用人数が概ね10名以上

4 地域活動支援センター（基礎的事業）

利用者に対し創作的活動、生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う。

職員は2名以上（うち1名は専任）配置

(6) その他の事業

(計画書P90~99)

サービス名	単位	計画値		
		24年度	25年度	26年度
訪問入浴サービス事業	実施箇所数	7	7	7
	年間利用者数(人)	15	15	15
日中一時支援事業	箇所	33	35	37
	月平均利用者(人)	178	188	199
	年間実利用者(人)	330	349	368
	人日分(月平均)	372	392	413
	人日分(年間)	4,461	4,708	4,955
生活サポート事業	人	2	2	2
身体障害者デイサービス事業 (経過的デイサービス事業)	箇所	1	1	1
	月平均利用者(人)	128	128	128
	年間実利用者(人)	153	153	153
	人日分(月平均)	274	274	274
	人日分(年間)	3,288	3,288	3,288
更生訓練費支給事業	件数	2,520	2,520	2,520

実績値			評価
24年度	25年度	26年度	
5	4	5	利用者数は、前年度までと同様に計画値を下回っている。
7	8	9	
39	41	40	
184	202	209	箇所数は前年度より1事業所減少。利用者数は計画値を上回っている。利用量は、一人当たりの利用日数が少なかったため、計画値を下回っている。
342	369	409	
340	321	347	
4,080	3,851	4,170	
0	0	0	利用者がいなかったため、計画値を下回っている。
1	1	1	利用量は、一人当たりの利用日数が多かったため、計画値を上回っている。
128	123	117	
146	142	137	
401	401	360	
4,821	4,820	4,314	
1,878	1,780	1,774	新体系移行に伴い、計画値を下回っている。

生活支援事業				
生活訓練等事業	人	3,210	3,210	3,210
生活学級	人	970	970	970
精神障害者デイサービス	人	310	330	350
精神障害者のつどい	人	60	60	60
知的障害者ふれあいの広場	人	1,870	1,870	1,870
その他生活支援事業				
精神障害者関係講演会等	人	890	890	890
こころのバリアをなくそうよ講座	人	210	210	210
精神保健福祉講座	人	180	180	180
こころの健康講演会	人	500	500	500
社会参加促進事業				
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	人	500	500	500
芸術・文化講座開催等事業	人	750	750	750
点字・声の広報等発行事業	人	145	145	145
奉仕員養成研修事業	人	140	140	140
自動車運転免許取得・改造助成事業	人	25	25	25

				新規の参加者が増えてきていて、計画値を上回っている。
3,538	3,857	3,838		
899	674	959		
540	812	819		
50	33	25		
2,049	2,338	2,035		新規の参加者が増えてきているが、計画値を下回った。
580	271	209		
126	61	61		
139	49	74		
315	161	74		
				スポーツ・レクリエーション教室は計画値を下回っているため、今後、事業の周知に力を入れていく必要がある。点字・声の広報については、利用者の高齢化に伴う登録者数の減少により、計画値を下回った。
371	325	243		
770	470	780		
121	101	92		
101	86	104		
25	23	16		

【障害福祉計画部分】平成26年度における数値目標について

1 施設入所者の地域生活への移行 (計画書P53～54)

平成17年10月1日現在 施設入所者数 388人 (A)
 平成27年3月31日現在 施設入所者数 329人 (B)

【目標値】施設入所者の削減数 59人 (A)-(B)

項目	実績値			目標値
	24年度	25年度	26年度	26年度
入所者数 (B)	330人	326人	325人	329人
入所者減少数 (A) - (B)	58人	62人	63人	59人
達成率	98.31%	105.08%	106.78%	-

【進捗状況】

・目標値まで達しており、順調に移行が進んでいる。

【目標値】地域生活への移行者数 117人

項目	実績値			目標値
	24年度	25年度	26年度	26年度
年間の地域生活移行者数	4人	4人	3人	-
地域生活移行者数の累計 (平成18年度～)	81人	85人	88人	117人
達成率	69.23%	72.65%	75.21%	-

【進捗状況】

・地域移行・地域定着支援事業が進捗していないため、目標値を下回っている。

2 福祉施設から一般就労への移行等 (計画書P55～58)

ア 福祉施設から一般就労への移行

平成17年10月1日から平成18年9月30日までの

年間一般就労移行者数 8人

【目標値】平成26年度の年間一般就労移行者数 32人

項目	実績値			目標値
	24年度	25年度	26年度	26年度
年間の一般就労移行者数	26人	18人	26人	32人
達成率	81.25%	56.25%	81.25%	-

【進捗状況】

・年間の一般就労移行者数は前年度より増加したが、目標値を下回っている。

イ 就労移行支援事業の利用者数

平成27年3月31日現在 福祉施設利用者数 1,433人

【目標値】平成26年度の就労移行支援事業利用者数 150人

項目	実績値			目標値
	24年度	25年度	26年度	26年度
年間の就労移行支援事業利用者数	111人	113人	101人	150人
達成率	74.00%	75.33%	67.33%	-

【進捗状況】

・就労継続支援B型の利用者増加に伴い、就労移行支援事業所の定員減少等があったため、目標値を下回っている。

ウ 就労継続支援（A型）事業の利用者の割合

平成27年3月31日現在 就労継続支援（A型）事業の利用者 58人 (A)
 平成27年3月31日現在 就労継続支援（B型）事業の利用者 519人
 平成27年3月31日現在 就労継続支援（A型 + B型）事業の利用者 577人 (B)

【目標値】平成26年度の就労継続支援（A型）事業の利用者の割合 10% (A)/(B)

項目	実績値			目標値
	24年度	25年度	26年度	26年度
年間の就労継続支援（A型）事業の利用者数（A）	12人	15人	21人	58人
年間の就労継続支援（B型）事業の利用者数	466人	523人	541人	519人
年間の就労継続支援（A + B型）事業の利用者数（B）	478人	538人	562人	577人
就労継続支援（A型）事業の利用者の割合（A）/（B）	2.51%	2.79%	3.74%	10%
達成率	20.69%	25.86%	36.21%	-

【進捗状況】

・就労継続支援A型事業所の整備が進まなかったため、目標値を下回っている。